

軍艦駒橋

開戦前誌

来歴 本艦は古保海軍工廠に於て建造サレ大正二年十一月

竣工後雑役船トシテ馬公要港部に附属シ居リしが五月二十三日

附リ以テ第ニ潜水艦隊母艦トシテ韓嶺に附属セシラレ六月廿日受

領ス

大正三年七月十七日 吳海軍工廠岸に碇留シ七月下旬ヨリ九月八日迄ノ

間ニ救難要具一式(但ニ機軸室及ク噸救難用唧筒機軸捲降具)ヲ陸揚シ

潜水艦隊母艦トシテノ 艦艇換子事ニ着手ハ即チ左記ノ主九子事

ヲナス

一 下甲板ニ區下ニハリシタシク室ヲ設ケ旧豊橋ニ裝備充テ七千五入ハリシ

タシクニ裝備シ之ヲ冷却用灌水管カリシタシク室ノ注水管及公室

換気装置(三馬力排氣用電機機)ヲ裝備ス

一

二

一、潜水艇ニ次電池注液用蒸溜水採取ノ目的ヲ以テ機械室入口ニ假水

機蒸溜器及蒸溜水溜槽ヲ新設ス

一、課電用配電盤ニ自動遮断器ノ設備ナキヲ以テ之ヲ設備シテ

但シ逆流遮断器モ必要ナルモ現品ナカリシタメ取付クルヲ得ズ

八月十六日 日曜 晴正午

気温九十三 湿度三〇。〇
風向北東 風力一

記事

雑役船駒橋丸

右駒橋ト命令セシ帝國軍艦竹籍ニ編入セラル

軍艦駒橋

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

吳鎮守府在籍軍艦駒橋

右警備艦ト定メ水雷母艦ノ役務ヲ兼ネシラル

吳鎮守府警備艦兼水雷母艦軍艦駒橋

右警備艦、從警備隊に附屬セシメラル

吳鎮守府警備艦兼水雷母艦 陣艦 駒橋

右第一潜水艦隊、母艦ト定ム

(以上八月十六日附海軍大臣)

一 艦種等級及定員ヲ定メラル

二 艦長以下乗組士官補任セラル

三 下士卒ハ種後船當時ノ回航員

八月十七日 月曜 天候晴 正午 氣温九十 風向 西 氣圧 三〇・〇四

記事

就役準備作業中

